

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	米生産調整推進対策事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	農政課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	農業振興係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		28 農業		2 農地の保全に努める									
		副目的														
	予算区分	款	6		項	1		目	3		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市農業振興対策事業補助金交付要綱														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	76 %			委託	0 %			助成	24 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	国の施策として、需要に応じた米穀の計画的生産を目的とする。														
	内容 (手段)	<p>国の事業として、平成22年度より戸別所得補償制度が開始された。 「米の需要量に関する情報」により、各農家へ水稻生産の目標数量及び水稻作付目標面積を提示し、米の生産調整の推進を図る。その中でJA尾張中央、尾張農業共済組合との連携により、田の現地調査を実施し、田管理補助事業(作物作付等10a当り3,000円、加工用米1俵当り1,500円)、休耕地等景観向上事業(10a当り「れんげ3,000円」「菜の花5,000円」「コスモス4,000円」)に取り組んだ農業者に助成金を補助する。 ○H23年度事業実施内容:田管理補助事業(作物作付け等589,303㎡、加工用米812俵)、休耕地等景観向上事業(れんげ27,430㎡、菜の花29,079㎡、コスモス462㎡) 【直接経費の内訳】 農政推進協議会委員謝礼(39千円) 普通旅費(9千円) 消耗品費(59千円) 水田農業経営確立対策事業補助金(897千円) ○24年度実施内容:23年度と同様に実施する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,759	1,845	1,004	1,584	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,659	2,659	2,659	2,659
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	6,418	4,504	3,663	4,243	
	対前年比	%			70.1	81.3	115.8	
財源	一般財源	千円	6,242	4,337	3,539	4,138		
	国・県支出金	千円	176	167	124	105		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	補助件数	件	目標		870	870	280
実績				780	266	215	
現地確認	回	目標		29	30	30	30
		実績		30	31	30	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			生産調整実施面積	m <sup>2</sup>	目標	735,000	770,000
水稲作付面積	a	目標		38,600	40,300	36,600	36,400
		実績		40,359	36,696	35,307	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	国の事業として、平成22年度より戸別所得補償制度が開始された。この制度は、自給率の向上を目指すものであり、自己保全管理、調整水田に対して農作物の作付けを促していくことから、自己保全管理、調整水田については、補助しないこととしている。平成23年度実績は215件となり、生産調整実施面積及び水稲作付面積ともに目標達成に至らなかった。
	事業実施における課題等		いかに農業者に対して戸別補償制度等を周知していくかが課題である。
	事業を縮小・廃止したときの影響		事業の廃止・休止をした場合、米の生産調整数量目標に対する農業者の協力体制が薄れ、米価に影響が出てくるものと考えられる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	平成22年度に水田農業経営確立対策事業補助金の交付対象を見直したことから、現状維持とすることが妥当であると考えたため。	
	改善案等	JA尾張中央と協力して、農業者に対して周知をしていく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。